

S.U.N.

No.34
2024 February

仙台大学男子サッカー部が 新たな歴史を刻む



夢に向かって挑戦する学生たち

令和6年度より高等学校教諭一種免許状(情報)教員養成課程を
スポーツ情報マスメディア学科に開設

夢中人 | ゼミ探訪 | 同窓会情報

- Q ①本学を選んだ理由は？ ②男子サッカー部ではどのような点が成長できましたか？
 ③大学での学びを通じて得たものは何ですか？ ④プロとしての目標は？
 ⑤本学を目指す受験生に向けたメッセージ



ベガルタ仙台内定(J2)

イシオ リクト
石尾 陸登 選手 | 身長/体重:181cm/72kg ポジション:DF 体育学科4年/JFAアカデミー福島U-18出身

- ① 体育系大学で学び、Jリーガーを目指したいと考えていました。体育系大学である仙台大学は多くのJリーガーを輩出していることに加えて、毎年全国大会に出場しています。大学サッカーの強豪校である仙台大学で技術のみならず、人としても成長したいと考え、仙台大学を選びました。
- ② 特に、責任感を持つことに関しては大きく成長できたと思います。
- ③ 様々な人たちとコミュニケーションを取ることができたことに加えて、体育・スポーツ科学を中心とした学びを通じて、自分の視野を広げることができました。
- ④ まずは、チームの主力選手として活躍し続けることであり、その後は日本代表に選ばれることが目標です。
- ⑤ スポーツ系の仕事に就きたい方、スポーツや健康に関する資格を取得したい方、または自分が行っているスポーツを仕事にしたい方にとって、本学には非常に良い環境が整っています。ぜひ仙台大学に進学して、その夢を実現させてください。



モンテディオ山形内定(J2)

ソウマ ジョウ
相馬 丞 選手 | 身長/体重:185cm/81kg ポジション:DF 体育学科4年/モンテディオ山形ユース出身

- ① 大学でも競技を続けると同時に体育・スポーツ関連の分野を学ぶことにも興味がありました。その中で、私の幼い時からの夢であるプロサッカー選手になる夢に近づくために、仙台大学を選びました。
- ② サッカーという競技の魅力を改めて感じることができました。また、チームメイトと共にプレーする楽しさを深く味わい、その魅力を再発見することができました。
- ③ アスリートとして必要な栄養面に関する授業を受けることで、栄養管理への意識をより高めることができました。
- ④ シーズン開幕時にスターティングメンバーとして出場すること、そして怪我なくプレーを続けることです。
- ⑤ ぜひ仙台大学で夢を掴んでください。大学での学びは、皆さんの未来への大きな一歩になると思います。



ザスパクサツ群馬内定(J2)

タマシロ タイシン
玉城 大志 主将 | 身長/体重:173cm/73kg ポジション:MF 体育学科4年/浦和レッズユース出身

- ① 常に全国大会への出場機会があること、そして、体育系大学らしい優れたトレーニング環境が整っている点が大きな魅力でした。
- ② 特に、フィジカル面での成長が大きかったと感じています。また、アスリートとしての技術はもちろん、主将としての経験を通じて精神面でも大きく成長できました。
- ③ サッカーだけではなく、授業や様々な経験を通して多くの人と出会い、価値観を広げる重要性に気づいたことです。
- ④ 私の夢は大きいです。海外で活躍する選手になること、そして最終的にはヨーロッパチャンピオンズリーグで優勝することが目標です。
- ⑤ 仙台大学で何を学び、何をしたいか、さらには卒業後の自分がどうありたいかまでしっかりとイメージすることが重要です。そうすることで、より明確な目標と意欲を持って最高の学生生活を送ることができると思います。



水戸ホーリーホック内定(J2)

トクノガ ソウキ
得能 草生 選手 | 身長/体重:165cm/68kg ポジション:MF 体育学科4年/青森山田高校出身

- ① 私の出身校である青森山田高校の正木昌宣監督が仙台大学出身で、仙台大学を紹介してくれました。サッカーに対して真剣に取り組める環境が整っていること、そして体育系大学として保健体育の教員免許が取得できることも、私が仙台大学を選んだ主な理由です。
- ② 指導スタッフ含めて、様々な人との出会いによって、自分の中の価値観が大きく変わりました。
- ③ 体育・スポーツ科学を中心とした専門教育を受けたことはもちろんですが、教職科目の授業を通じて人に教えることの難しさを深く学ぶことができました。
- ④ 試合を見に来てくれた人が帰る際に、「来てよかった」と感じてもらえるような、面白くて魅力的なプレーをすることです。
- ⑤ 私は仙台大学で学んだことが、プロサッカー選手になる夢を掴むきっかけになったと思っています。皆さんも、仙台大学で充実した学生生活を送り、夢を掴んでください。



FC岐阜内定(J3)

オノ ハルヒコ
與那覇 航和 選手 | 身長/体重:171cm/66kg ポジション:MF 体育学科4年/浦和レッズユース出身

- ① 常に全国大会に出場する機会があること、さらに練習参加時に見たトレーニングルームやアスレティックトレーニング設備などが整っているため、サッカーに集中できる環境が整っていると感じたからです。
- ② 部員が多いため、多くのプレースタイルを観察する機会がありました。他の部員の上手な点や長所を真似することで、技術的な面で大きく成長できました。
- ③ チームメイトと共に同じ目標に向かって努力する楽しさを再発見しました。サッカーだけではなく、日常生活でも一緒に行動する機会が多く、楽しい思い出がたくさんあります。大学の四年間で出会った素晴らしい仲間たちは最高の宝物です。
- ④ プロ初年度から多くの試合に出場し、ゴールやアシストで成果を上げることが目標です。また、サッカーだけではなく、様々な人との関わりを通じて、人間としてもさらに成長していきたいと考えています。
- ⑤ 仙台大学では、素晴らしい仲間に出会い、自分のやりたいことに集中して打ち込むことができる環境が整っています。ぜひ仙台大学で夢を叶えてください。

仙台大学男子サッカー部プロフィール

男子サッカー部は、6カテゴリーで編成されており、各チームがそれぞれの所属リーグで活動。学連チームは、東北地区大学サッカーリーグ1部を主戦場とし、「一目千本桜 FC feat. S. U. F. T」と「FC LA U. de Sendai」が東北社会人サッカーリーグ1部に参戦している。男子サッカー部からはセレッソ大阪・奥基博亮選手(平成23年3月体育学科卒)、ブラウブリッツ秋田・峰須賀孝治選手(平成24年3月体育学科卒)、浦和レッズ・松尾佑介選手(令和2年3月体育学科卒)など、これまで多くのプロサッカー選手を輩出しており、第一線で活躍している。

2024年度 チームカテゴリー表

チーム名	所属リーグ	一目千本桜 FC feat. S.U.F.T	FC LA U. de Sendai	FC LA U. de Sendai セゲンダ	FC LA U. de Sendai テルセーラ	FC LA U. de Sendai クアルタ
仙台大学サッカー部	東北地区大学サッカーリーグ1部	東北社会人サッカーリーグ1部	東北社会人サッカーリーグ1部	東北社会人サッカーリーグ2部南	宮城県社会人サッカーリーグ2部	仙南社会人サッカーリーグ1部



仙台大学男子サッカー部が新たな歴史を刻む

～2年連続全日本大学サッカー選手権大会ベスト8とJリーグへ5名の内定選手輩出～

全日本大学サッカー選手権大会で歴史を塗り替える快挙を達成した男子サッカー部。創部以来初となる2年連続ベスト8進出を達成した。さらに、13年連続でJリーガーを輩出するとともに、今年度はこれまでの記録を上回る歴代最多5名の選手がJリーグチームへの内定を獲得した。今回は、体育系大学としての特色を活かした男子サッカー部の育成方針の深層に迫る。

「加点主義」が生む成果 吉井秀邦総監督の指導法による Jリーガー輩出の軌跡

仙台大学男子サッカー部がJリーガーを次々と輩出している背景には、吉井総監督の「加点主義」という斬新な育成方針がある。この育成方針は、失敗を恐れずに挑戦する精神を学生たちに浸透させ、単に失敗を避けるのではなく、積極的に挑戦し、成功を収めた選手を特に高く評価することに重点を置いている。

この育成方針によって、学生たちは豊富な経験を積み機会を得て、新たな挑戦に恐れず臨むことができていく。その結果、サッカー選手として、また人間としての成長を遂げ、成功への道を拓くことに繋がっていると吉井総監督は語る。消極的な姿勢ではなく、積極的な取り組みが評価され、個々の特長を伸ばしていくことにより、東北地区大学サッカーリーグ1部で16年連続優勝、2年連続全日本大学サッカー選手権大会ベスト8進出、Jリーグへ5名内定選手輩出などの輝かしい成果を生み出している。

体育系大学の強みを生かした 革新的な取り組み

全国でも屈指の強豪として知られる男子サッカー部は、吉井総監督を中心とした指導スタッフのもとで、チームとして新たな取り

組みに挑戦し続けることで、学生の成長を促している。本学の体育・スポーツ科学の学問分野を背景に、専属トレーナーやスポーツ科学を応用したアプローチがチームの成長を支える。さらに、選手の技術向上を目指し、AIカメラを含む最先端テクノロジーを導入したことで、プレー分析と改善点の特定が可能になった。このようなスポーツ科学の先進的な取り組みは、選手個々の能力向上とチーム全体の成長に大きく貢献している。

男子サッカー部の新たな挑戦

男子サッカー部はこれまでの歩みを超え、新たな挑戦に挑む。「総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」「全日本大学サッカー選手権」でどちらも過去最高成績は3位。個の育成を重視するチーム作りを進めていく中でも、更なる高みを目指す。

2024年4月からは、元日本代表FWで、本学卒業生でもある平山相太氏が男子サッカー部監督として帰ってくる。平山氏は、現役引退後、仙台大学へ2018年4月に入学。学生として学びながら、在学中には、コーチとしての指導者キャリアをスタートさせた。かつて「平成の怪物」と呼ばれたストライカーがチームに新たな風を吹き込むことは間違いない。益々目が離せない。吉井総監督率いる男子サッカー部の今後の活躍に期待が高まる。

“人を支えたい”との想いで 選んだ介護福祉士の道

9年間野球選手として活躍してきた奥谷晴翔さん。野球を通して人に支えられ、支えてきた経験から、健康福祉学科を選択。大学での学びを通じて、介護福祉の魅力を実感することになったそうです。そんな奥谷さんが介護福祉士を目指した理由、介護実習での学び、介護業界への想いを語ってくれました。



奥谷 晴翔さん

所属：健康福祉学科4年
出身校：名取北高等学校(宮城県)
内定先：特別養護老人ホーム 八木山翠風苑
趣味：野球観戦
好きな食べ物：みかん、まぐろ
好きな言葉・座右の銘：平常心、闘争心

「本学を志望し、健康福祉学科を選んだ理由を教えてください。」

高校時代までに培った9年間の野球経験を通じて、人を支えたいという強い思いを抱き、仙台大学への進学を決定しました。健康福祉学科を選んだ理由は、保健体育科教諭、介護福祉士、社会福祉士など多様な選択肢を提供しており、その幅広い可能性に惹かれたからです。私が在籍していた高校の先輩たちも多く仙台大学に進学していたことから、仙台大学は私にとって身近な存在でした。入学時、介護福祉士を具体的に意識していた訳ではありませんでしたが、健康福祉学科での学びが、介護福祉士という職業への道を拓いてくれました。

「なぜ、介護福祉士の道に進もうと思ったのですか？」

介護に対する世間一般的なイメージは

に、とても興味を持ちました。「ハンドボールの指導者になりたい」という自分の希望にピッタリはまりました。

「会社を選んだ決め手は何ですか？」

多角的な事業展開とスポーツに対する理解と行動力です。深松社長が、今後の事業展開や部活の支援などについて、熱のこもった話をされました。地元の建設会社なので、東日本大震災の復興にも尽力されたことを知り、感銘を受けました。セミナー終了後、ネットで検索して深松社長のインタビュー記事を読んだり、会社の実績などをリサーチすると、幅広く事業を展開し業績を伸ばしているのわかり、自分もぜひ一員として働きたいと思いました。

「内定が出るまでのスケジュールは？」

2月に企業研究セミナーがあり、それからエントリー。一次面接がゴールデンウィーク頃、その後、Webで適性検査や、社長・役員面接があり、6月に内定をいただきました。第一志望でしたので、内定をもらい本当にうれしかったです。桑原監督もコーチも喜んでくれました。

「この制度のメリットは？」

ハンドボールの経験者は少ないため、初心者も指導しているのが現状です。特に中学生は身長や競技力も伸びる大切な時期。経験者が指導員となることで、試合で勝てる可能性が高くなります。保護者の方も勝って喜ぶ子供の姿を見たいと思いま

あまり良くなく、正直なところ、私自身も当初は介護に良いイメージを持っていませんでした。しかし、大学での介護実習を経験したことがきっかけで、介護福祉士としてのキャリアを目指すようになりました。介護施設で利用者と直に接する機会が得られた介護実習は、最も影響を受けた経験になりました。実際には、現場で介護の大変さを実感すると同時に、そのやりがいも深く感じました。特に、人とのふれあいから得られる温かみや満足感は、介護の大変さを超える体験でした。もともと介護福祉士を目指すことは考えていませんでしたが、実習での体験が私の人生観を変え、実現になりました。

「健康福祉学科での学び、大学生活はどうでしたか？」

授業では、専門科目に加え、体育系大学ならではの多様な学問にふれることで、人間の健康や福祉に対し、より幅広く理解を深めることができました。大学4年間を通じて、介護福祉士について学ぶことの意義を実感しています。介護福祉士の資格は専門学校や短期大学でも取得できますが、本学では介護福祉士としての専門的な知識と技術を深めるだけではなく、人間性を磨き、より良い介護サービスを提供するための幅広いスキルも身につけることができました。と思っています。

大学生活では、全国各地から来た学生たちとの交流が非常に充実していました。また、介護専攻の先生方は、いつもアット

ですので、保護者の皆さんの思いも支援できると思います。

「今後の抱負を教えてください。」

在学中には運動、栄養、コーチングなど、アスリートに必要な知識を総合的に学ぶことができました。保健体育の教員免許も取得したので、学びを実践の場で生かしたいと思っています。そして、一番は楽しむこと。楽しめば競技力も上がり、自分で考えて練習したり、努力できるようになります。そのためにもまずはハンドボールを好きになってもらえるような指導をしたいと思っています。



仙台市立五橋中学校で指導する木村さん

ホームな雰囲気を作ってくれ、その上で多くのことを学ぶことができました。国家試験の対策でも大きなサポートを受けました。健康福祉学科の先生方の存在がなければ、今の自分は存在しないと思っています。大学での4年間を通じて学びを、今後のキャリアや夢に向けて活かしていきたいと思っています。

「介護福祉士の道へ進むにあたり新たな夢は何ですか？」

令和6年4月から、介護実習を行った八木山翠風苑で介護福祉士としての新しい生活が始まります。この施設は、私が介護福祉士を目指すきっかけをくれた思い出深い場所でもあります。そんな特別な場所でキャリアをスタートできることを大変嬉しく思っています。私の夢は、介護業界の課題に取り組み、業界全体の改善を目指すことです。特に、施設内の雰囲気や風通しの良さを重視し、利用者ファーストの視点を大切にしながらも、援助者側の視点にも目を向け、改善を図りたいと考えています。





きくち たいよう 菊池 太陽さん

所属：現代武道学科4年
出身校：宮古高等学校(岩手県)
内定先：岩手県教員採用試験中教諭(保健体育)合格
趣味：映画鑑賞、釣り
好きな食べ物：アイスクリーム
好きな言葉・座右の銘：
努力は必ずしも報われるものではない。しかし勝つものや夢を叶える人は、努力している。

文武両道、柔道と教員試験への挑戦 夢を叶え、保健体育教員へ

柔道家で教員の父を持つ菊池太陽さんは、その背中を追いつつも、自らの道を切り開くために仙台大学に入学。岩手県の教員採用試験に合格し、夢だった保健体育の教員として4月から教壇に立ちます。現代武道学科での学び、柔道を通して得たものについて語ってもらいました。

「本学を志望し、現代武道学科を選んだ理由を教えてください。」

私が現代武道学科を選んだ理由は、主に二つあります。まず、中学校の保健体育の教員免許が取得できる点です。幼い頃から身体を動かすことが大好きで、学校での体育の授業は、いつも私にとって一番楽しい時間でした。また、これまで出会った体育の先生、担任や部活動顧問、それぞれが魅力的で熱心な方々で、多大な影響を受けました。体育の先生という職業への憧れと、自分自身の得意分野を生かしたいという思いが強く、それが現代武道学科を選ぶ大きな動機となりました。二つ目の理由は、高校時代まで続けてきた柔道の影響が大きいです。武道の専門的な学びも深めることができる現代武道学科は、私にとって非常に魅力的でした。保健体育の教員免許も取得できるため、私の夢に一步近づいたための理想的な場所と考え受験しました。

「現代武道学科での学び、大学生生活はどうでしたか？」

現代武道学科では柔道だけに留まらず、剣道や空手など他の武道に関する知識と技術も身につけることができました。特に印象深かったのは、柔道方法論の授業です。この授業では、指導や授業構成の方法を学び、さまざまな教育アプローチについての視野を広げることができました。また、実績豊富な先生方から直接指導を受けることができたことは、私にとって非常に貴重な経験でした。これらの学びは、教員としてのキャリアにおいて、直接的に役立つと思っています。本学での学びや活動を通じて、私は教員として必要な専門知識とスキルを身につけることができたと思っています。

「教員である父の影響は大きかったですか？」

教員という職業は、父のお陰でとても身近な存在となっていました。家では教育に関する話はあまりありませんでしたが、私は幼い頃から父が部活動で柔道の指導をする姿を見て育ちました。生徒に指導する父の姿から、知らず知らずのうちに、父は私にとって憧れの存在となっていたと思います。父はどう思っているかわかりませんが、自分としては最高の親孝行ができたと思自負しています。

「教員採用試験合格への道のりを教えてください。」

高校時代、私は柔道で大きな挫折を経験しました。最後の大会での怪我が原因で、その後の大学受験においても、思うように事が進みませんでした。大学入学後、私は自分の夢に向かってより一層努力を重ねました。明確な目標を持ち、勉強と柔道の両方で成果を出せるように努力しました。文武両道の信念が、最終的には教員採用試験合格に結びついたと考えています。

また、教員採用試験を受験する際には、仙台大学教職支援センターの先生方のサポートもあり、自分の力を遺憾なく発揮できたことも非常に大きかったです。



令和5年度東北学生体重別大会後の男女4年生柔道部員の集合写真

DXが推進する未来の教育界をリードする 仙台大学スポーツ情報マスメディア学科 ～保健体育科教諭と情報科教諭教員免許の 同時取得について～

教職支援センター長 山内明樹 教授



本学スポーツ情報マスメディア学科における「情報」教員養成課程(高等学校教諭一種免許状(情報))の令和6年4月開設に向けて、本学から文部科学省へ認可申請を行い、「情報」教員養成課程の開設が認可されました。同学科では、これまで中学校・高校「保健体育」の教員免許取得が可能でしたが、今回の認可により、必要な単位を修得することで、両教員免許状の同時取得が可能となりました。

そこで、本学スポーツ情報マスメディア学科の「保健体育科教諭」と「情報科教諭」教員免許の同時取得における取り組みについて、教職支援センター長の山内明樹教授にお話を伺いました。

「保健体育科教諭と情報科教諭の教員免許を同時に取得することの利点はありますか？」

学校では教科「情報」が必修となり、令和7年度には大学入学共通テストにも教科「情報」が設置されるなど、情報科教諭に対する期待と需要は高まっています。高等学校教諭(情報)の課程を開設することは、人材が不足する情報科教諭の養成に資するとともに、開設に伴う学科カリキュラムの拡充により、教育分野、体育スポーツ分野及び関連領域に係るDX対応人材の育成をも可能とするものであり、その意義は大きいと考えます。

情報の教職課程は、情報の科学的な見方や考え方や、知識や技術、その知識や技術を適切かつ効果的に活用・指導することができる実践的で高度な専門的資質・能力を備えた教員の養成を目指しています。これは、本学の特性を生かし、主に「身体活動」を「情報」面から捉え、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、課題の発見・解決を図る教員の養成を補完・発展させるものであり、教科教育、専門教育において、実践的で高度な専門的知見・技能を有し学校教育の場で活躍する有意な教員の育成に繋がるものと考えます。

「スポーツ情報マスメディア学科で情報科教諭の教員免許を取得するメリットを教えてください。」

これまでは、理系や一部の社会系の学

「この新しい教職課程が、将来の教育界にどのような影響を与えるとお考えですか？」

これまでのスポーツ中心の教員から、スポーツと情報の両方を指導できる教育者を養成できる教職課程として、世の中の情報社会に対応した教員の需要に大きく貢献するものと考えます。本学科の学びを通して、保健体育の教員に加え、情報の教員として部活動を指導するという可能性が広がりました。

「仙台大学において、教員を目指す学生に対する支援体制はどのようになっていますか？」

本学教職支援センターには、常時、各自治体の過去問集や教員採用試験対策の書籍、雑誌を整備しており、閲覧・貸し出しも可能です。センターには、情報収集用のパソコンや学習机も用意され、常駐する教職員に質問、相談する体制も整備されています。また、本学独自の取り組みとして「教採塾」の活動があります。「教採塾」の活動は、「教採塾」「未来先生」「せんだい実習」「チーム教採」などのプログラムからなり、いずれも、将来教壇に立つときに求められる指導力、実践力、そして、教員採用試験対応学力の錬成・強化を目指し、学生主体の活動として実施されています。教師は「学び続けることで教えられることができる」と言われています。学生時代に良き学びの習慣を身に付け、生涯を通じて成長する教師となることを期待しています。

【スポーツ情報マスメディア学科授業科目例】

- 【スポーツ情報戦略分野】
 - ・スポーツパフォーマンス分析概論
 - ・スポーツ情報戦略論演習
 - ・スポーツパフォーマンス分析演習
 - ・スポーツパフォーマンス分析実習I, II 等
- 【メディア分野】
 - ・CG基礎演習(含実習)
 - ・メディアとジャーナリズム
 - ・情報社会論
 - ・コンテンツ制作演習 等
- 【(新設)情報分野】
 - ・コンピュータ概論
 - ・データ構造とアルゴリズム
 - ・プログラミング演習(含実習)
 - ・情報通信ネットワーク論
 - ・情報システム論 等

令和5年4月入学生まで
中学校教諭一種免許状(保健体育)
高等学校教諭一種免許状(保健体育)

↓

令和6年度4月入学生から
中学校教諭一種免許状(保健体育)
高等学校教諭一種免許状(保健体育)
+
高等学校教諭一種免許状(情報)

栄養学に裏打ちされた 持久力が強み ソフトテニス界の「期待の星」

まえかくち あやな
前角地 彩菜さん

スポーツ栄養学科3年 ソフトテニス部

2002年岩手県金ケ崎町生まれ。金ケ崎中学校、盛岡誠桜高等学校出身。趣味はショッピング、読書、音楽鑑賞、映画鑑賞。好きな食べ物は卵、チーズ、トマト。モットーは「楽しんでテニスをする」。好きな言葉は「強くなければ生きていけない、優しくなければ生きていく資格がない」。今年の目標はインカレでベスト8入りすること。



第65回会長杯争奪東北学生ソフトテニス大会 パックハンドを打つ前角地さん

130余年の歴史を持つ日本発祥のスポーツ、ソフトテニス。軟式テニスとも呼ばれ、子どもからシニアまで幅広い年齢層が楽しめる生涯スポーツとして愛されている。近年はアジアやヨーロッパでも競技人口が増え、オリンピック種目への採用を目指し世界各国で普及活動が行われている。そうした中、ソフトテニス界で期待の星として注目されているのが本学の前角地彩菜さんだ。

「本学を選ぶ決め手については、栄養学などアスリートに必要な知識を学ぶことで、競技生活に生かせると思いました」。ソフトテニス部についても調べたところ、「高校で対戦した強豪校の先輩たちが在籍していることもわかり、私もレベルアップできると思いました」。すぐに結果を出し、大学1年の時に東北選手権大会シングルス・ダブルスで優勝を果たす。一方、学業にも熱心に取り組む「1年でスポーツ栄養学の基礎を学び、3年では場面に応じた栄養管理を指導を実践的に学ぶことが、とてもおもしろいです」。各種大会に向けた調整を行いつつ、課題への取り組みや保健体育



陸上&スキー&アメフト 3刀流の挑戦 応援をチカラに金メダルを目指す

むらた ゆうすけ
村田 悠祐さん

体育学科1年 スキー部

2004年長野県生まれ。明晴学園中学校、東京都立中央ろう学校高等部時代もスキーと陸上の各大会で活躍。好きな食べ物はラーメン、ピザ、サーモン。趣味は身体を動かすこと。目標/夏季デフリンピック(陸上競技)と冬季デフリンピック(スキー競技)での2つの金メダル獲得。



学生支援センターで談笑する村田さん(左から4番目)

村田悠祐さんはアルペンスキーの選手で、今年トルコで開催されるデフリンピックへの出場を決めた。加えて、「2022年全国聾学校陸上競技大会」の800Mで優勝するなど陸上選手としても活躍する。夏季デフリンピック(陸上競技)と冬季デフリンピック(スキー競技)、2つの金を目指す村田さんに話を聞いた。(手話通訳/田近嵯季さん・スポーツ栄養学科3年)

※今回の村田さんへのインタビューは、2023年12月に行われたものであり、その後、2024年1月31日に第20回冬季デフリンピック競技大会(於トルコ)に出場が決定した。

金メダリストの背中を追って

村田さんは、長野県生まれ。両親に連れられて4歳からスキーを始めた。運動能力が抜群で、陸上競技でもその才能を開花させた。東京に引っ越してからは冬はスキー、普段は陸上と2種類の競技に取り組むようになった。本学入学のきっかけには、同じろう者障がいを持つ、本学職員佐々木琢磨さんの存在がある。2022年5月、ブラジルで開催された「第24回夏季デフリンピック」の陸上競技男子100Mで佐々木さんは日本人初の金メダルを獲得した。記録は10秒75、多くの困難を持ち前の明るさとガッツ、努力で乗り越え、獲得した価値ある金メダルだ。その後ろ姿を追って、村田さんは本学に入学したのだという。

学業と競技が両立できる環境

「高校の陸上の先生の紹介で琢磨先輩と出会い、仙台大学で手話通訳やノートテイクなどのきめ細やかなサポートがあると考えてもらい、学業と競技の両立ができてと思い、選びました」と語る。佐々木さんからの前情報の通り、学生ボランティアの支援で不自由なく授業を受けることができた。さらに入学後、チーム競技にも興味を拡がり、アメフト部にも加入した。「ポジションは、自身の走力を活かせるレシーバーです。聴きとれなくても目でやりとりするので、楽しくやっています」。陸上、スキー、アメフト、そして学業と、何刀流もの活躍だが、そんなハードな毎日を心から楽しんでる。

2つの金メダルを目指して

村田さんの手話通訳を担当する田近嵯季さんは村田さんを「明るく、物怖じしない性格で、自分からどんどん話かけて行くので、『もう友達になったの?』とこちらが驚くほど」と語る。村田さんは「手話ができなくても、手話以外のコミュニケーション、スマホ、ジェスチャーでもコミュニケーションができます。今は周りの皆さんに支えてもらい、自分らしく過ごせるので最高です」と充実の学生生活を過ごしている。今後の目標は「夏季デフリンピック(陸上競技)と冬季デフリンピック(スキー競技)での2つの金メダルをとること」。保健体育の教員免許も取得して、将来は指導者の道も視野に入れているという。持ち前の明るさで周囲を魅了する村田さんは「周りからの応援が何よりもチカラになります!」。これからは輝く姿を見せ続けられるに違いない。



長野県「スノーバスターズ」チームで練習する村田さん

長年ジュニア大会で大活躍

前角地さんは小学1年の時、友だちとスポーツ少年団に加入してソフトテニスを始めた。プレイする楽しさ、試合で勝つ喜びに魅了され、メキメキ才能を発揮し、各大会で活躍。金ケ崎中学校ソフトテニス部ではキャプテンとして岩手県大会団体優勝に導き、ダブルスでも優勝と好成績を収めた。強豪校の盛岡誠桜高校に進学すると、岩手県高校選手権大会シングルス・ダブルス優勝、ハイスクールジャパンカップベスト16にも選ばれた。さらに高みを目指そうと思った高3の時、新型コロナウイルスでインターハイが中止になった。一時はテニスを辞めようかと思ったというが、「ここで諦めたくない」と思い直し、テニスができる環境を求めて、仙台大学を選ぶことにした。

栄養学を競技生活に活かしたい

「本学を選ぶ決め手については、栄養学などアスリートに必要な知識を学ぶことで、競技生活に生かせると思いました」。ソフトテニス部についても調べたところ、「高校で対戦した強豪校の先輩たちが在籍していることもわかり、私もレベルアップできると思いました」。すぐに結果を出し、大学1年の時に東北選手権大会シングルス・ダブルスで優勝を果たす。一方、学業にも熱心に取り組む「1年でスポーツ栄養学の基礎を学び、3年では場面に応じた栄養管理を指導を実践的に学ぶことが、とてもおもしろいです」。各種大会に向けた調整を行いつつ、課題への取り組みや保健体育

の教員免許、栄養士資格の取得を目指している。

全国で注目の選手の仲間入りへ

ガンバリ屋さんの前角地さんは、「試合前に摂ると効果的な食品など栄養面では自信がありますが、今は睡眠をとるのが一番の課題です」と笑顔をみせる。栄養学の知識を活用して、競技中のエネルギー管理や回復を最適化。試合前日は糖質を多めに摂り、それを効果的にエネルギーに変えるため豚肉などのビタミンB1を同時に摂取するのがルーティンとか。そのほか走り込みなど日々の自主トレも欠かさない。そうした努力が実を結び、昨年に続き、2月17日に開催される「ポカリスエット杯BIGCONソフトテニスチャレンジカップシングルス」の出場選手にも選ばれた。「上位の試合ほど最後は体力勝負になります。持久戦で負けたことがあります。選手一人ひとりの心技体全てが問われ、努力から逃げることなく継続してきた者が勝利できるという。陰ながら努力を重ねる前角地さんにこそ、優勝カップが相応しい。」



第65回会長杯争奪東北学生ソフトテニス大会ダブルス女子で優勝し、笑顔を見せる前角地さん(右)、佐藤莉穂さん(体育学科3年)(左)

私の所属するスポーツ振興課では、幼児から高齢者を対象としたスポーツ教室を

力しています。今年、マスターズ優勝を目指して日々努力しています。私の所属するスポーツ振興課では、幼児から高齢者を対象としたスポーツ教室を



第44回全日本マスターズ陸上競技選手権2023山口大会 砲丸投げW50 2位の賞状とメダルを手にする大石さん

コラム

人生の土台となった4年間

柴田町役場 スポーツ振興課 大石 恵美さん 体育学科 平成6年度卒業

私は平成6年度に卒業し、現在は柴田町役場スポーツ振興課に勤務しています。縁があつて柴田町役場に入庁し、早いもので28年が経過しました。気持ちには、若いつもりですが、身体の自由が利かなくなつており、学生さんが羨ましい限りです。私も学生さんに負けないという思いで、昨年度50歳を迎えた記念に、小学生から大学生時代まで続けてきた陸上競技を数十年ぶりに挑戦してみようと思ひ、全日本マスターズ陸上の全国大会に参加しました。今年、マスターズ優勝を目指して日々努力しています。

現在のような多様な学科はなく、体育学科のみで「Sendai college」として知られていました。その頃は上下関係が厳しく、街中ですれ違う先輩と思われる方には全員に挨拶をしなければいけない、女性はスカートを着用してはいけないという暗黙のルールがありました。今では考えられないことですが、当時はそれが当たり前で、今思うと笑える思い出です。私が、この大学を志望した理由は、東北・北海道地方で唯一の体育大学であり、環境に恵まれ施設も整っていたからです。入学後は、好きな陸上競技に打ち込み、厳しい練習にも耐え、何でも相談できる素晴らしい仲間にも出会えたことが私の宝です。

令和6年度新規事業スタート 「女子寮運営事業」「同窓会シンボルマーク・部活動支援事業」

「女子寮運営事業」につきましては、仙台大学の女子学生受入れ強化及び本学の女子学生増加に伴う現役学生からの需要等から鑑み、部活動単位での女子寮運営事業の計画を地元柴田町の業者と共に進めてまいりました。現在、既存のアパートをリノベーションして、セキュリティを徹底したコミュニケーション豊かな寮運営ができるような体制を整備しているところであります。

また、現在、同窓会では、新規事業「部活動支援事業」のスタートに向けて、仙台大学同窓会のシンボルマークのデザインを全学生に募集しています。2月下旬に最優秀賞・優秀賞の表彰を準備しています。体育系大学らしい素晴らしいシンボルマークの完成が待ち遠しいところです。令和6年度からの具体的な事業につきましては、本学の全国で活躍する部活動を中心に、出場に係る経費の負担軽減のために助成を行い、シンボルマークについては、大会出場時に身に付けたり荷物等に付けたりしていただけるよう考えています。

「SC（セレクト&コメント）リレー・メッセージ」3年間の事業を終了します。

令和2年12月から始めた本事業に、全国の同窓生から令和6年2月現在、第236号までメッセージが寄せられ、本事業は令和4年3月にメッセージ第1号から第100号をまとめた第1集「きらめき」・令和5年3月に第2集「時の響き」を刊行しました。この輝きを放つ「寄稿頂いたメッセージの数々は、同窓会のホームページにコーナーを設けて掲載しています。その反響は大きく、ご寄稿頂くメッセージはその時代の大学や学生、当時の船岡の様子までも描写されていて、思い出のアルバムを懐かしんで見ているかのように読み進んでしまう感覚です。メッセージはメッセージと呼び、次の執筆者にリレーのバトンが繋がれるといった、懐かしさと楽しさ満載の事業となりました。3年間、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和6年度 仙台大学同窓会 『社員総会』開催のお知らせ

日時：令和6年5月11日(土) 会場：ホテル原田inさくら 日程：社員総会15時、懇親会17時、正式案内：令和6年3月予定

ゼミ探訪

佐々木和ゼミ（子ども運動教育学科）

健やかな育ちの支援を通して、自らを探究し成長する学びを

佐々木 和 准教授

仙台市生まれ。宮城学院女子短期大学卒、聖徳大学大学院修了。めるへの森幼稚園、宮城学院女子大学附属幼稚園教諭、同大学附属の認定こども園教頭を経て、2019年本学入職。「保育の質」「こどもの理解と援助」等のテーマで講演会、研修会の講師を務める。仙台こども食堂の運営、NPO法人子どもの村東北ボランティアにも携わっている。



ゼミ生に聞きました 「子ども運動教育学科の魅力は?」

石高太陽さん（4年 福島東高等学校出身） 小学校前の幼児教育の重要性に着目し選びました。施設実習や身体を動かして学ぶ授業など多彩な学びを通して経験値が上がり、視野が広がりました。

金子亜希菜さん（4年 埼玉・花咲徳栄高等学校出身） 施設実習や就職活動も親身にサポートして下さるので本当にありがたいです。幼稚園教諭1種免許が取得できるので将来を考えるのなら、おすすめですよ。

菊地未夢さん（3年 宮城・仙台大学附属明成高等学校出身） なんとピアノレッスンが毎日受けられます!発表会も年2回あり、音楽好きにおすすめ!手遊びや歌も自信が持てるようになりました。

佐藤有姫さん（3年 福島・喜多方東高等学校出身） 姉の子どもがきっかけで、子どもの発育・発達について学びたいと思い、この学科を選びました。授業で学んだ制作やお絵かき、手遊びなどを実際に試して、興味の度合いや工夫点を探りながら、4年の実習に備えています。

高橋ひなのさん（3年 宮城・聖和学園高等学校出身） 当初保育士志望でしたが、今は障害のある子どもの保育に興味が広がっています。「困り感」を抱える子どものニーズはあるので、施設実習を通して、さらに学びを深めたいと思っています。

「運動、スポーツが好き」「子どもが好き」という方は、学んでみませんか?

今回のゼミ探訪で、佐々木准教授の温かなお人柄と、その先生に全幅の信頼を寄せる学生たちの真摯な姿に触れることができました。子どもたちの育ちの支援を通して、自らも成長できる、それが保育・幼児教育の醍醐味。挑戦する価値のあるフィールドと感じました。

「子ども運動教育学科」は、幼児期に大切な「遊び」を軸に保育と教育を実践的に学び、社会に貢献する保育者を育成しています。幼稚園教諭一種免許、保育士資格のほか、幼児体育指導員、ジュニアスポーツ指導員などの資格取得が可能で、「子どもが好き」「運動、スポーツが好き」という学生にピッタリの学科です。佐々木和ゼミでは、34年の幼児教育経験から得た知識、技術、そして情熱を学生に伝えています。

大好きな幼稚園が保育者の原点

「先生が大好きで幼稚園に行くのが楽しみでした」と語る佐々木和准教授。「いつか先生のようになりたい!」との思いが幼児教育に携わるきっかけになったそうです。その夢をずっと持ち続け幼稚園教諭に。キャリアの大部分を宮城学院女子大学附属幼稚園(現・認定こども園 森のこども園)で過ごしました。「年齢やキャリアに関係なく、大学教員と教諭が共に学生の養成や研究ができる環境。公開保育も盛んで、子どもたちに何ができるかを常に探求する雰囲気がありました」と振り返ります。途中、聖徳大学大学院で学んだ後は、当時珍しかった「2歳児親子クラス」の立ち上げにも携わりました。専門学校で講師として「保育原理」を担当しましたが、「私は子どもたちと触れ合う現場が好きなので」実践一本に絞りました。



上：こども食堂での活動 下：佐々木ゼミの集合写真

す。これらが保育実習では大いに役立ちます。「幼児期は人格形成を決定付ける重要な時期であり、家族同様保育者には大きな影響力があります。それを認識した上で、「楽しく過ごすこと」が子どもたちの成長の糧となるのです。目標を持って取り組むことで、未来を担う子どもたちの成長を支援できるやりがいのある仕事です」。いつも熱い思いで、ゼミ生たちを励まし続けています。

川平KMCH（P-Lab）で行った高大接続授業

高大接続授業の一環として、本学の真木瑛講師が仙台大学附属明成高校食文化創志科で食の栄養素とその重要性に焦点を当てた「専攻別調理実習～地域食環境デザイン 給食料理～」を行いました。

さらに、仙台大学附属明成高校の生徒たちは、体組成測定や血圧測定を通し、自分自身の身体の状態を深く理解する貴重な機会を得ることができたと同時に、この高大接続による実践的な学びは、彼らが必要な栄養素を理解し、健康的な食事の選択方法を考えるきっかけとなり、食に対して、理解を深める生徒たちにとって、身体と栄養に関する知識を豊かにする重要な経験となりました。

川平KMCHでは、今後も高大接続授業や公開講座を実施し、高校と大学の学びだけではなく、研究活動や地域社会への還元に貢献していくこととしています。



体組成測定の様子

第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 東北地区代表選考会にて歴史的一步を刻んだ仙台大学女子駅伝ブロック

令和5年9月24日(日)に開催された、第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会、陸上競技部女子駅伝ブロックが、単独チームとして初めて出場しました。

大会では、各大学から6名が2チームに分かれ、襷を繋ぎます。緊迫した中、1区では、伊東舞莉彩選手(体育学科1年)が17年連続優勝を目指す強豪・東北福祉大学を抑え、区間賞という見事な走りを見せました。その後も仙台大学の選手たちは、力強くコースを駆け抜け、2チームとも無事にゴールしました。最終結果では東北福祉大学には及ばなかったものの、2位となりました。この日の走りは、仙台大学陸上競技部女子駅伝ブロックにとって、歴史的一步となりました。

来年度の第42回全日本大学女子駅伝は、第41回全日本大学女子駅伝において東北福祉大学が8位以内のシード権を確保したため、仙台大学陸上競技部女子駅伝ブロックの初出場が期待されます。



第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会に出場した選手たち

仙台大学同窓会の日本酒

この日本酒は、本学の学生と蔵人により醸しだされた純米大吟醸です。味わいは酵母由来の香りを控えめにし、作り手の考えを感じ取れるように仕上げた究極の食中酒です。是非、みなさんの古き良き時代を過ごした仙台大学を感じながら、また語りながら、味わっていただきたいと思います。

使用米：宮城県産ひとめぼれ100% 精米歩合：50% アルコール分：16度
酵母：宮城酵母 酒質：日本酒度/+4酸度/1.6アミノ酸/0.1 保存方法：-5度～5度の冷蔵管理
価格：1800ml・販売価格(税込)：2,959円、500ml・販売価格(税込)：998円

〈購入について〉以下の販売店様にご注文下さい。

丸正酒店 Tel 0224-62-2002 Fax 0224-62-0625 (宮城県角田市角田字町177)



2022 スペイン酒類国際コンクール 金賞
2022 オリエンタルサケアワード
純米大吟醸/純米吟醸部門 銀賞
2022 オリエンタルサケアワード 亞州清酒大賞

■お問い合わせ内容と主な関連部署

入試(学内見学)関係	入試課	0224-55-1017
求人、就職指導関係	就職課	0224-55-1017
学生生活関係	学生生活課	0224-55-3019
奨学金関係	奨学金事務課	0224-55-1038
成績、各種証明書発行関係	教育企画課	0224-55-1086
資格取得の支援関係	資格支援課	0224-55-1307
大学院(入試含む)関係	大学院事務課	0224-55-5706
同窓会関係	同窓会事務局	0224-55-1449

学校法人朴沢学園 仙台大学(代表)

〒989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南2丁目2-18

TEL 0224-55-1121/FAX 0224-57-2769

受付時間:平日 8:30～17:15(受付時間外は留守番電話に切り替わります)

今後も、仙台大学のトピックスや在学生・卒業生の活躍を皆様にお伝えすべくより良い紙面づくりのため、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。アンケートにご協力をお願いいたします。

アンケートはこちら



卒業生の住所変更はこちら



※在学生の住所変更は学生生活課にお問い合わせください。

仙台大学HP



Instagram



X(旧Twitter)



Facebook



仙台大学は2020年3月11日付で「公益財団法人日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されました。